

(4) 収支見通し策定の前提条件

条件項目	収支見通し策定に当たっての考え方（前提条件）
1 料金設定の考え方、料金収入の見込み	今後、処理区域内人口増加による使用料金の増加が見込まれます。下水道への接続を推進し、使用料の向上を図る。
2 他会計繰入金の見込み	資本的支出は、整備促進するうえで繰入金は増額が見込まれます。収益的収支で下水道使用料の収納及び未接続世帯の加入促進を図り、またさらなる経費削減を実施し基準外繰入金を減らしていく方針です。
3 大規模投資の有無、資産売却等による収入の見込み	現在はありますが、流入人口の急増が見込まれる場合、近い将来増設を計画しています。
4 その他収支見通し策定に当たって前提としたもの	現在、みらい平駅周辺区画整理事業の流入人口が増加が見込まれます。現段階では、料金改定が前提条件となっていますが、増加すると汚水処理原価が低くなり、一般会計の基準外繰入金の減額が見込めます。 また、合併により公共下水道及び農業集落排水・コミュニティ・プラント事業が一括管理になり、人件費及び維持管理費等の経費を押し下げる事ができた。

注1 収支見通しを策定するに当たって、前提として用いた各種仮定（前提条件）について、各区分に従い、それぞれその具体的な考え方を記入すること。

2 必要に応じて行を追加して記入すること。